

学 長 定 例 記 者 会 見 要 項

日 時：平成22年9月21日(火) 11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス、事務局4階)

発 表 事 項

1. 工学部百周年記念会館 竣工
2. 「ヤマダイのお造り session2010」開催中
3. 金山町「ふるさと壁画プロジェクト」完成

お 知 ら せ

1. 人文学部公開講座「嵐の中の日本企業－再生への道標－」
2. 附属博物館「植物の魅力を訪ねて」
3. 保健管理センター公開講座
「発達障害の理解と支援について－思春期を中心に」
4. 「ひろがれ 弁当の日 in 山形」開催

(参 考)

○ 次回の学長定例記者会見(予定)

日 時：平成22年10月5日(火) 11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス、事務局4階)

平成22年9月21日
山形大学

工学部百周年記念会館 竣工

百周年記念会館落成式典を挙ります。

日 時：平成22年10月9日（土） 14：30～15：20

場 所：山形大学工学部 大示範教室（米沢市・工学部キャンパス）

山形大学工学部は、前身である米沢高等工業学校が明治43年3月に開学して以来、本年に創立100周年を迎えました。

工学部では、創立100周年を記念するとともに、工学部の高等教育機関としての役割を達成するために、卒業者、修了者からなる米沢工業会、在学生の保護者からなる工学部後援会の協力を得て、創立100周年記念事業実行委員会を結成し、学生、教職員並びに卒業者・修了者、企業等による市民参加型の記念事業を進めて参りました。

その一つとして、卒業者、修了者及び在学生の保護者による工学部支援の拠点として、さらには、企業及び市民の参加型大学を目指す工学部の社会連携の拠点として、100年の輝かしい歴史とのふれあい・人とのふれあいを大切にした創造性豊かな活動が行える記念会館を建設しています。

百周年記念会館は、鉄筋コンクリート造、2階建(延べ面積約894m²)の施設を、キャンパス内旧米沢高等工業学校本館(重要文化財)の東側約45mの位置に重要文化財に対峙するように配置しています。

設計者は、「公募型プロポーザル方式」により全国公募による76件の応募者の中から2回の厳正な審査の結果、日本を代表する著名な建築家である高宮眞介氏に決定しました。平成20年4月～平成21年3月に基本設計と実施設計を行い、平成22年3月末に着工、9月末に竣工します。

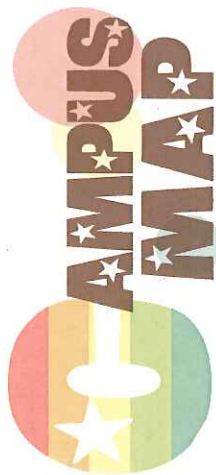
(お問い合わせ)

山形大学工学部事務ユニット

企画総務チーム

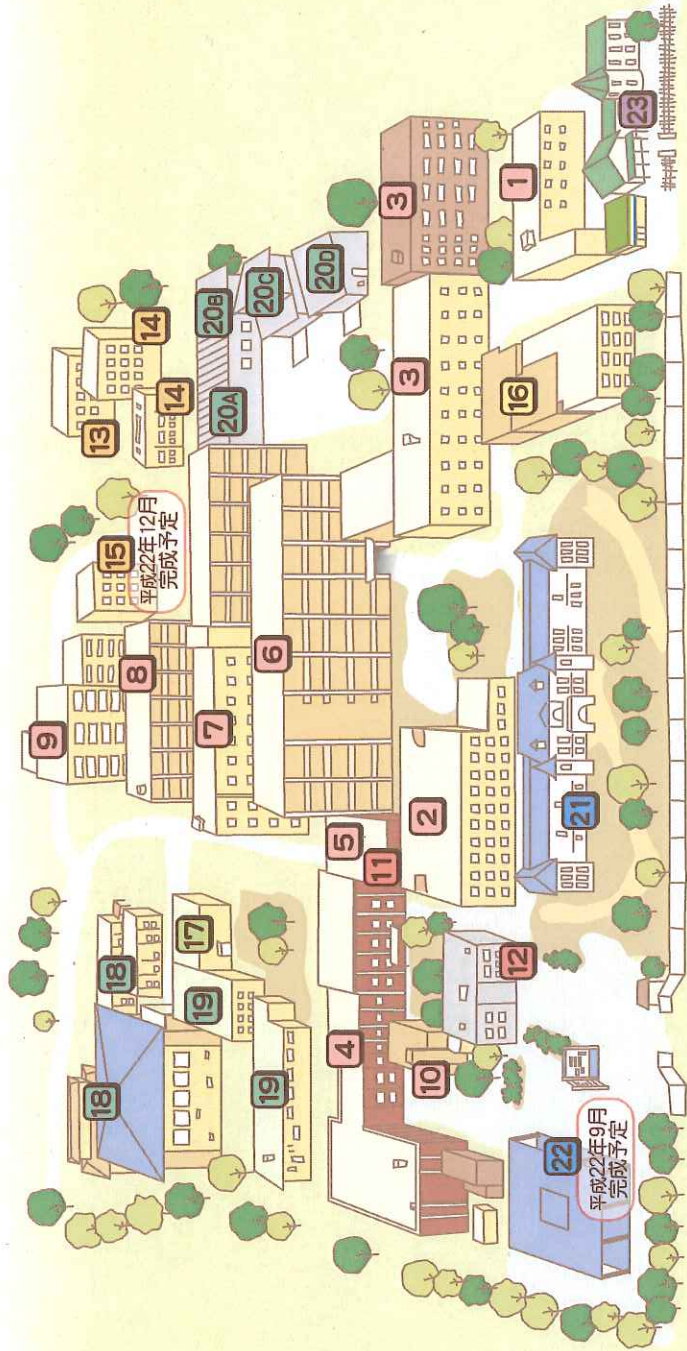
電話： 0238 (26) 3005





工学部は平成22年3月に100歳の誕生日を迎えました。
 世界基準の最先端研究技術と人・環境の融合を目指したものづくり技術者を育成していきます。

- | | | |
|------|-------------------------------|-------------------|
| 1 号館 | 9 号館 | 17 保健管理室 |
| 2 号館 | 10 講義棟 | 18 体育館・課外活動施設 |
| 3 号館 | 11 学生サポートセンター
キャリアサービスセンター | 19 学生食堂・工学部会館 |
| 4 号館 | 12 管理棟 | 20 ものづくりセンターA～D棟 |
| 5 号館 | 13 インキュベーション施設 | 21 旧米沢高等工業学校本館 |
| 6 号館 | 14 国際事業化研究センター | 22 工学部創立100周年記念会館 |
| 7 号館 | 15 先端有機エレクトロニクス研究センター | 23 ゲストハウスYU |
| 8 号館 | 16 図書館・学術情報基盤センター | |



第4回 ホームカミングデー

平成22年10月9日（土）
13時～14時10分

大示範教室

100周年記念講演

母校設立と米沢市発展への戦略

米沢高等工業学校初代校長 故大竹多氣の御子孫
大竹俊樹氏を講師に迎え、当時の資料を基にお
話しいたします。

百周年記念会館落成式典

大示範教室

平成22年10月9日（土）
14時30分～15時20分

主催者挨拶

来賓挨拶

感謝状贈呈

テープカット

施設見学



プレス発表資料

平成22年9月21日
山形大学

「ヤマダイのお造り session2010」開催中

地域教育文化学部造形芸術コースの学生メンバーが、新庄市駅前商店街で地域活性化を目的としたアートプロジェクトを開催しています。

場 所：新庄市駅前商店街・新庄駅「ゆめりあ」
日 時：平成22年9月19日（日）～25日（土）
イベント：

- 『オープニングステージ』 9月19日（日）11：00～ 「ゆめりあ」
- 『まちなかライブペイント！』
 - ・描き初めイベント 9月20日（祝）9：00～ 「ママクリーニング小野寺よ」
 - ・一緒に描こう！市民の方と共同制作 9月23日（祝）10：00～ ※同会場
- 『SHINJO GIRLS COLLECTION』 「旧高山肉屋」
- コミュニティカフェ『YOC!』 「かしわや鞆店右隣空き店舗」
- インフォメーションセンター『お造り館』 「かしわや鞆店左隣空き店舗」
- ワークショップ 9月20日（祝）10：00～ 14：00～
9月23日（祝）10：00～（全3回） 「お造り館内」
- 新庄とのコラボ商品『ヤマダイ焼き!』 ※期間中随時開催
- 新庄銘菓『新庄方言』パッケージコンペ ※期間中随時開催
- 『プレ卒展』 ※期間中常設 「ゆめりあ」
- みんなでつくる新庄風『たいのぼり』 ※期間中随時開催
- 『クロージングステージ』『ナイトツアー』 9月25日（土）18：30～「ゆめりあ」出発

やまがた社会貢献基金「やまがたまち並み作りサポート活動支援事業」学生・市民によるアートな商店街づくり事業～「ヤマダイのお造り session2010」（正式名称）は、地域活性化と市民交流を目的として、新庄市民と山形大学造形芸術コース学生メンバーが協働して企画した地域発信型アートプロジェクトです。

商店街の空き店舗や駅周辺公共スペースを活用して、新庄を魅力的な場にしていく12のイベントを同時開催していきます。

美術、音楽、パフォーマンス、ワークショップなどジャンルを越えた様々な活動を通して、世代を越えた人達が共にまちの想いをくかたち<にします。

（お問い合わせ、申込受付）

山形大学地域教育文化学部 文化創造学科
准教授 八木文子

電話： 023（628）4339

やまがた社会貢献基金

市民とヤマダイ生がまちなかをほんのり熱くする



SESSION 2010

9/19(日) ~ 9/25(土)

ゆめいあ
山形県新庄市商店街

新庄市民とヤマダイ生がまちなかをほんのり熱くする！

新庄をもっと好きになる、もうひとつのお祭り 「ヤマダイのお造り session2010」

やまがた社会貢献基金 まちなかアートセッション22『ヤマダイのお造り session2010』は、新庄市民と山形大学造形芸術コース学生メンバーが協働し、地域活性化、市民交流を目的とする地域発信型アートプロジェクトです。商店街の空き店舗や駅周辺公共スペースで、新庄を魅力的な場にしている12のイベントを同時開催していきます。美術、音楽、パフォーマンス、ワークショップなど、様々なジャンルを越えた活動を通して、世代を越えた人達が共にまちの想いを《かたち》にします。

■ まちなかライブペイント！

シャッターをキャンバスに、期間中商店街の店舗で公開制作。
ヤマダイ生がみなさんと街を彩ります。

描き初めイベント！

・・・9/20 9:00～「ママクリーニング小野寺よ」さんにて
「一緒に描こう！」市民の方との共同制作イベントも開催！

・・・9/23 10:00～「ママクリーニング小野寺よ」さんにて
※ペイント会場は上記の会場の他数店舗を予定しています。



■ 「民具ガール」が可愛く着こなす！

『SHINJO GIRLS COLLECTION』

新庄に残る“民具”を使ったファッションショーを開催。
映像作品と展示によって、民具の新しい魅力を引き出します。

新庄市内でロケを敢行。まちと風景を再発見☆

場所・・・旧高山肉屋にて

※民具展示は上記の会場の他約20の店内で行います。



■ コミュニティカフェ

『YOC!!』(Yamadai Otsukuri Cafe!!)オープン！

新庄の人達と、もっと親しくなりたい！という学生の思いから、
YOC!!は今年もオープンします。「YOC!!」は「よっききたっけにや」
という新庄の方言からきています。

ピノキオさんのドリンクとすぎのこハウスさんのスイーツと共に
楽しい時間を過ごしませんか？

特別企画のすぎのこハウスさんとの共同開発「ヤマダイ焼き」
も登場するよ☆

・場所・・・かしわや靴店右隣空き店舗にて



■ インフォメーションセンター

『ヤマダイのお造り館』

ここに来れば「ヤマダイのお造り」のすべてがわかる！

12の企画の詳しい内容や場所を紹介しています。

みんなで作る「タイのぼり」、おみくじ、他楽しい企画も盛りだく
さん☆

・場所・・・かしわや靴店左隣空き店舗にて



■ ヤマダイ生と「ものづくり」の楽しさを体験しよう！

お造り館内でワークショップを開催します。(事前申込制)

9/20 10:00～「びゅんびゅん発進！紙ひこうき」

9/20 14:00～「昔の道具で手作りマグネット！」

9/23 10:00～「わらを使って遊ぼう！」

会場をまわるスタンプラリーもやってるよ☆(景品付き)



■ 新庄とのコラボレーション商品 その名も「ヤマダイ焼き」！！

すぎのこハウスさんとの共同商品が実現しました。

ヤマダイ生のオリジナルロゴが焼印されたお菓子が「YOC!!」にて購入できます。

ヤマダイ風味の味付けをぜひご賞味あれ☆

他、ここでしか買えないオリジナルTシャツやエコバッグも販売。



■ あなたの一票で決まる！

新庄銘菓「新庄方言」のパッケージコンペ開催！

新庄市で昔から愛されているお菓子のパッケージ(のし紙)をヤマダイ生がデザイン。

学内選考から勝ち残った上位デザインから、市民投票で1位を選出。

1位は竹美堂さんにて実際に採用されます。



■ ゆめりあ内で「ふし卒展」開催！

新庄駅「ゆめりあ」の2階通路にあるストリートギャラリーでヤマダイ生の作品を展示します。

学部4年生の力作をぜひご鑑賞ください。



■ みんなで作る新庄風「タイのぼり」！

大きなタイのぼりの凧に、お造り館にきてくれた方と一緒に、ひとつの絵を完成させます。

アジサイ型のうろこを貼って、みんなのタイを空高くあげたい☆

■ オープニング・クロージングステージ

まちの方々とヤマダイ生で本イベントの開催を大いに盛り上げます。オープニングでは、コンサート等様々な企画を用意しています。

お楽しみに☆

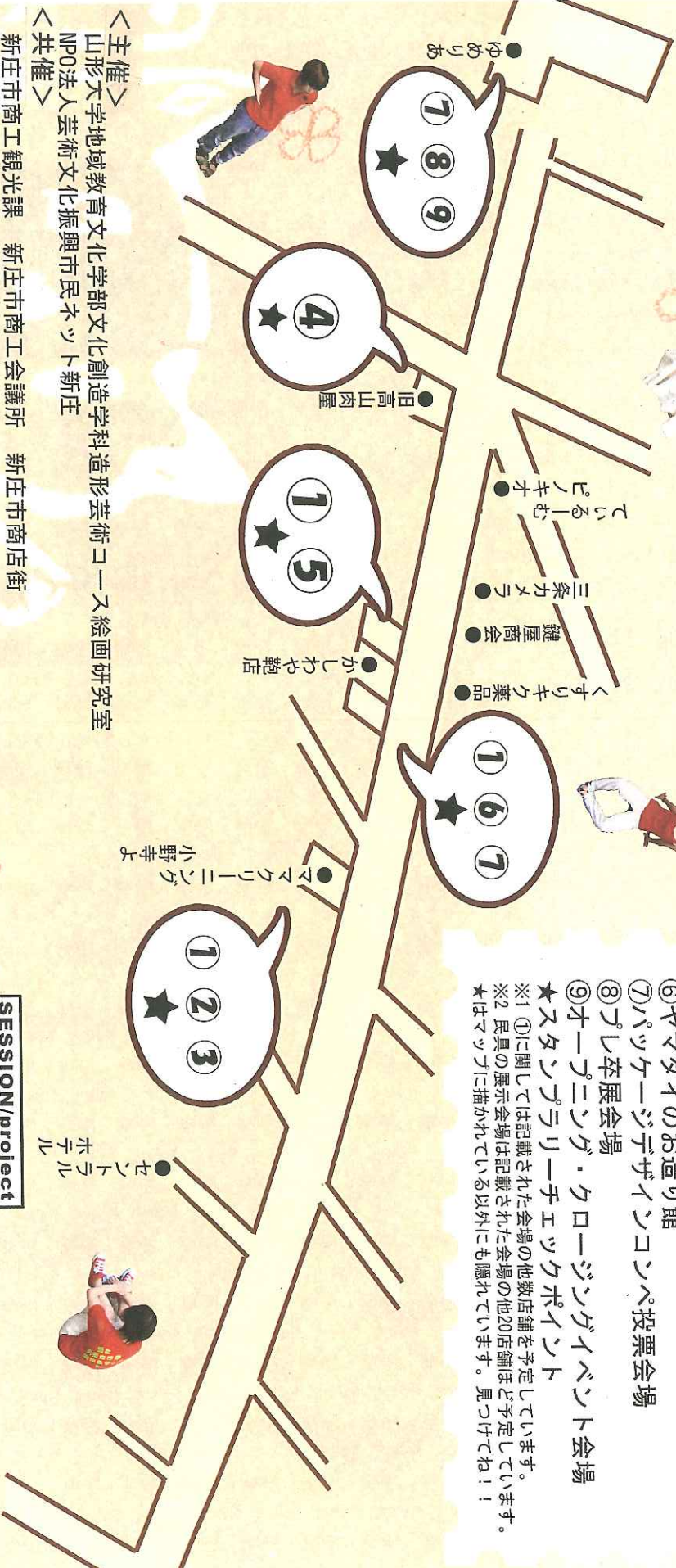
・開催日時・・・9/19 11:00～ ゆめりあにて

クロージングは、完成したライブペイントや各企画をヤマダイ生と一緒にみんなでまわる「お造りナイトツアー」や、ヤマダイ音楽芸術コースの学生による声楽コンサートがフィナーレを盛大に飾ります。

・お造りナイトツアー・・・9/25 18:30～ ゆめりあ出発！

ヤマダのお造り 見取り図

新庄駅



開催イベント会場案内

- ① まちなかライオンイベント会場※1
- ② ライオンイベント描き初めイベント会場
- ③ ペイント共同制作イベント会場
- ④ 「SHINJU GIRLS COLLECTION」上映会場※2
- ⑤ コミュニティカフェ「YOCO!!!」
- ⑥ ヤマダのお造り館
- ⑦ パッケージデザインコンペ投票会場
- ⑧ プレ展会場
- ⑨ オープニング・クロージングイベント会場
- ★ スタンプラリー・チェックポイント
- ※1 ①に関しては記載された会場の他数店舗を予定しています。
- ※2 長具の展示会場は記載された会場の他20店舗ほど予定しています。
- ★ はマップに描かれている以外にも隠れています。見つけてね!!

<主催>
山形大学地域教育文化学部文化創造学科造形芸術コース絵画研究室
NP0法人芸術文化振興市民ネット新庄

<共催>
新庄市商工観光課 新庄市商工会議所 新庄市商店街

<お問い合わせ>
山形大学造形芸術コース gatyapanman@hotmail.co.jp (企画代表: 中川)
SESSITION/project ホームページ <http://sessiionproject.ikidane.com/index.html>
NP0法人芸術文化振興市民ネット新庄 090-4889-6168 (担当: 松田)

SESSION/project

SESSION/projectとは、アーティスト同士のネットワークを通じて、ジャンル・世代を越えて"session"することによって生まれる人的交流と社会的影響・効果を目指すアートプロジェクトです。クリエイティブで横断的な作家たちの共演は、私達の創造力を豊かにし、その共鳴が化学変化にも似た"何か"を生みだし世界の見方を変えて見せるかもしれません。

平成22年9月21日
山形大学

金山町「ふるさと壁画プロジェクト」完成

地域教育文化学部造形芸術コースの学生メンバーが、最上郡金山町中田地区の地域の活性化と文化保存に繋がる壁画制作を行いました。

設置場所：最上郡金山町中田小学校区 国道旧13号線道路カルバート内

「ふるさと壁画プロジェクト」は、金山町中田地域のふるさとの風景や思い出、四季折々の伝承行事を後世に伝えることを目的とし、地域の方々の心の拠り所となり、制作に携わった児童が将来まで地元を愛するように、国道旧13号線道路のカルバート内に壁画を制作したいとの金山町の要望を受けて行われたものです。

中田小学校の児童の皆さんをはじめとする、地域住民の皆様の協力のもと山形大学地域教育文化学部造形芸術コースの学生が、児童生徒、地区民が大切に思う内容を中心にした内容で下絵を作成し、縦1.8m、横21.6mの巨大壁画を制作しました。

4日間の現地滞在で、中田小学校の児童生徒18名の指導に当たりながら僻地教育の実態体験として共同制作を実施しました。

※制作スケジュール

- 4月22日 壁画制作打ち合わせ会
- 5月 壁画制作合同打ち合わせ（中田小、地区区長、山形大学）
- 7月 地区民の残したいもの 文化・行事・資料づくり及び収集
子供達の夢・思い出スケッチの制作
- 8月 原画制作開始（山形大学）
- 9月 壁画制作（9月2日～5日）
- 10月 披露・除幕式

（お問い合わせ、申込受付）
山形大学地域教育文化学部 文化創造学科
准教授 八木文子
電話： 023（628）4339

プレス通知資料（概要）

平成22年9月21日
山形大学

1. 人文学部公開講座「嵐の中の日本企業—再生への道標—」

(概要) 本講座では、日本企業の直面している課題がどのようなものなのか、また日本企業はどのように対応しようとしているのかを、日本経済、労働、情報システム、会計、経営戦略の観点から考察します。

日時:平成22年10月12日(火)～11月9日(火) 18:30～20:10

場所:人文学部2階 205教室(山形市・小白川キャンパス)

対象:一般市民・大学生・高校生 定員30名

受講料:一般市民 2,000円(大学生・高校生は無料)

募集期間:平成22年9月13日(月)～10月6日(水)

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

問い合わせ:山形大学人文学部事務ユニット

(TEL)023-628-4203

2. 附属博物館「植物の魅力を訪ねて」

(概要) 山形県内の植物について、個々の種類の特徴や性質、植生の成り立ちなどについて、身近な知識としてわかりやすくお伝えし、こりまでより一層植物に親しんでいただきたいというのが本講座の目的です。

日時:平成22年10月16日(土)～10月30日(土) 13:30～15:00

(毎週土曜日 全3回)

場所:小白川図書館1階 シアタールーム(23日、30日)(山形市・小白川キャンパス)
山形市野草園(16日)

対象:一般市民 定員30名

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

問い合わせ:山形大学附属博物館

(TEL)023-628-4930

3. 保健管理センター公開講座「発達障害の理解と支援についてー思春期を中心に」

(概要) 最近、小・中・高校生のみならず大学生においてもアスペルガー症候群などの発達障害を持つ学生が増加傾向にあることが話題になっています。

本講座では、発達障害についての理解を深めより良い支援を行うために、発達障害について詳しい専門家の先生をお招きして講演をしていただきます。

また、講演後には参加者と講演者とのディスカッションの時間を設け、活発な意見交換も行います。

日 時:平成22年11月5日(金) 18:00~20:00

場 所:基盤教育2号館 211番教室(山形市・小白川キャンパス)

講 師:山形県立鶴岡病院 神 田 秀 人 氏

受講対象:一般市民、本学学生・教職員 100名

受講料無料です。

問い合わせ:山形大学保健管理センター

(TEL)023-628-4154

4. 山形大学生生活協同組合シンポジウム「ひろがれ 弁当の日 in 山形」

(概要) 食事を作ることの大変さ、一緒に食べることの楽しさ、そして食への感謝などについて、大学生だけでなく、お母さん・保育士・学校の先生・生産者などにも参加していただき、「食育」について「学び・考え・行動する」契機にしていただけたらと思います。

とりわけ、「食べることは生きること」「『弁当の日』を通じた子供たちの学びや成長」「作れることの大切さ」などを大学から地域に情報発信します。

日 時:平成22年11月3日(水・文化の日) 13:00~16:00

場 所:山形大学第一体育館(山形市・小白川キャンパス)

対 象:どなたでも 700名(先着・参加申込が必要です。)

受講料無料です。

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

問い合わせ:山形大学生生活協同組合

(TEL)023-641-4380

5. これまでの学長定例会見でお知らせをしたもので開催がせまっているイベント
当日の取材をよろしく願いいたします。

○医学部公開講座「感染症への備え～医療現場で最低限必要な準備と対策～」

日 時:平成22年9月25日(土)、10月2日(土)13:00～16:00

場 所:医学部大講義室(山形市・飯田キャンパス)

参加者:すべての医療従事者および医療機関事務担当者 100名

問い合わせ:山形大学医学部総務ユニット庶務担当

(TEL)023-628-5006

○工学部次世代ロボットデザインセンター講座「ロボットの未来・明日のカタチ」

日 時:平成22年10月2日(土) 13:00～16:00

場 所:工学部(米沢市・工学部キャンパス)

受講対象:一般市民(高校生以上) 40名

受講料無料です。

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

問い合わせ:山形大学工学部広報室

(TEL)0238-26-3419

○工学部重要文化財コンサート「ルネサンス・カフェ 癒しの響き」

日 時:平成22年10月9日(土) 開場14:30 開演15:00

場 所:工学部重要文化財内(米沢市・工学部キャンパス)

申込み受付:平成22年9月8日(水)10:00～電話受付。定員100名

入場無料です。

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

問い合わせ:山形大学工学部企画総務チーム

(TEL)0238-26-3005

○大学祭「第16回 吾妻祭～僕らが繋ぐこの瞬間～」

☆平成22年10月9日(土) in米沢女子短期大学

オープニングイベント、各種企画

清水翔太ライブ 開場16:00 開演17:00

☆平成22年10月10日(日) in山形大学工学部

各種企画、屋台・展示・研究室公開・フリマ

☆平成22年10月11日(月) in山形大学工学部

各種企画、屋台・展示・研究室公開・芸人ライブ(弾丸ジャッキー)

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

問い合わせ:山形大学工学部・米沢女子短期大学合同学園祭「吾妻祭」実行委員会

吾妻祭HP⇒

<http://sky.geocities.jp/azumasai2010/azuma/10azumasaitop.html>

○理学部公開講座「DNAでつなぐサイエンス」

日 時:1日目 平成22年10月23日(土)13:00~16:30

2日目 平成22年10月24日(日)10:00~17:00

会 場:山形大学SCITAセンター

山形大学理学部先端科学実験棟4階大講義室

対 象:一般の方(高校生以上) 40名(DNA実験のみ定員あり)

受 講 料:1,000円

申込み期間:平成22年9月15日(水)~10月15日(金)

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

問い合わせ:山形大学理学部事務ユニット 公開講座担当係

(TEL)023-628-4505

○工学部ひらめき☆ときめきサイエンス「有機の光を体験しよう」

日 時:平成22年11月13日(土) 10:00~16:00

(受付は9:30~)

場 所:工学部(米沢市・工学部キャンパス)

対象者:中学生 20名

申込締切日:平成22年10月31日(日)

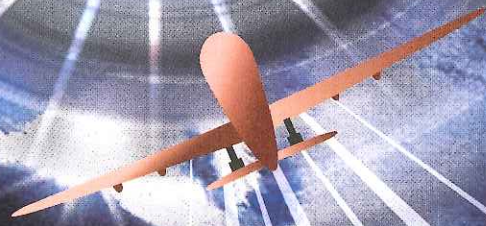
[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

問い合わせ:山形大学工学部研究支援室

(TEL)0238-26-3004

嵐の中の日本企業

—再生への道標—



10
12
火

「失われた20年」と日本企業

人文学部 教授 立松 潔

10
19
火

いま求められる
日本人の働き方・働かせ方

人文学部 講師 戸室 健作

10
26
火

日本製品のガラパゴス化の現状と今後
～携帯電話とデジタルカメラ産業を例にして～

人文学部 准教授 西平直史

11
2
火

これからの企業資産
～カタチはないけど大事な資産～

人文学部 准教授 緒方 勇

11
9
火

モジュール化の進展と日本企業の課題

人文学部 講師 真保智行

日 時：平成22年10月12日(火)～11月9日(火)
午後6時30分～8時10分

場 所：山形大学人文学部2階 205教室

対 象：一般市民・大学生・高校生 定員30名

受 講 料：一般市民 2,000円
(大学生・高校生は無料)

募集期間：平成22年9月13日(月)～10月6日(水)

■お問い合わせ先

山形大学人文学部事務ユニット

電話：023-628-4203

E-mail: jisoumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

嵐の中の日本企業

—再生への道標—

講座の概要

現在、日本企業を取り巻く現状は厳しいものとなりつつあります。デフレの進展を背景に、多くの企業が価格競争に巻き込まれ、一方では経済全体の成熟化と共に、雇用情勢が悪化し、その雇用システムを見直す必要に迫られている企業もあります。

本講座では、こうした現状を踏まえて、日本企業の直面している課題がどのようなものなのか、また日本企業はどのように対応しようとしているのかを、日本経済、労働、情報システム、会計、経営戦略の観点から考えていきます。

第1回目

10/12

「失われた20年」と日本企業

人文学部 教授 立松 潔

火 日本経済はバブル崩壊後現在に至るまで「失われた20年」とも言われるような低迷の時代を過ごしてきました。この時代の日本企業は、国内の需要低迷＝デフレ経済と、グローバル化に伴う競争激化への対応を迫られ、また2008年秋の世界同時不況では輸出市場の急速な縮小によって大きな打撃を受けることになりました。このような様々な困難に日本企業がどう立ち向かったかを明らかにし、今後の課題を明らかにしていきます。

第2回目

10/19

いま求められる日本人の働き方・働かせ方

人文学部 講師 戸室 健作

火 1990年代の後半以降、日本では正社員数が急減する一方、非正社員数が急増しました。特に日本の基幹産業であるモノ造りの現場では派遣形態の労働者が広く活用され、「派遣切り」によってその問題点が社会的に注目されています。本講演では、製造現場の派遣労働を事例にして、非正社員の活用に関する諸課題を具体的に指摘します。また、ティーンワーク（人間らしい働き方）を求める新しい動き、コミュニティユニオン、「派遣村」等の事例を紹介します

第3回目

10/26

日本製品のガラパゴス化の現状と今後 —携帯電話とデジタルカメラ産業を例にして—

人文学部 准教授 西平 直史

近年、「ガラパゴス化」という言葉をよく目にします。その例が日本で販売されている携帯電話端末で、非常に高機能でデザインも洗練されていますが、世界市場における市場占有率は低くなっています。一方、デジタルカメラは日本製品が世界市場で圧倒的な占有率をもっています。両者の違いをもとに、「ガラパゴス化」の問題点と今後の戦略を概観します。

これからの企業資産—カタチはないけど大事な資産—

第4回目

11月2日

火 今、新しい企業資産として、無形資産の重要性がますます高まっています。無形資産とは、ブランド、研究開発力、データベース、企業組織、社員の技術・知識、ノウハウなどのことです。これら無形資産の重要性の高まりは、企業の経営方法を大きく変化させ、また、企業の情報開示制度にも変化を迫っています。本講演では、無形資産によって企業経営のあり方や企業情報開示制度に何が起きているのかについて考えていきます。

人文学部 准教授 緒方 勇

モジュール化の進展と日本企業の課題

第5回目

11月9日

火 液晶テレビや電気自動車といった製品では、モジュール化が進み、必要な部品を集めてくれば、誰もが質の高い最終製品を組み立てることができ、多くの企業が市場に参入してきています。そうした中で、日本企業は自らの強みを十分に発揮できずに、市場競争で難しい立場に立たされ、その一方では、外部からの生産受託に特化した台湾企業や、大規模投資に積極的な韓国企業が成長しています。そこで、なぜ日本企業の強みが生かされなくなったのか、また日本企業はどのようにして現状を打破しようとしているのかを解説します。

人文学部 講師 真保 智行

02	払込取扱票										通常払込料金 加入者負担							
口座記号番号										金額	千	百	十	万	千	百	十	円
0	2	2	6	0	7	9	2	4	7	8				2	0	0	0	
加入者名 国立大学法人山形大学										料金	備考							
<p>「嵐の中の日本企業—再生への道標—」申込書</p> <p>※この払込用紙は、1人1枚をご使用ください。(人文学部)</p> <p>○職業をお書きください。()</p> <p>○年齢をお書きください。()</p> <p>○今後の連絡の便宜のためにEメールアドレスをお持ちの方はご記入ください。()</p> <p>※個人情報の利用について 提出いただいた書類の個人情報は、本公開講座の参加に関する手続きのみに使用し、第三者に開示・提供・預託することはありません。ただし、ご承諾いただける場合は、今後の公開講座やセミナー等のご案内を本学からお送りする場合がございます。□承諾する □承諾しない (いずれかをチェック願います)</p>																		
おとこ (郵便番号)										様								
※ おなまえ										日 附 印								
ご依頼人 (電話番号)										料 金								
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (承認番号仙第8982号)										備 考								
これより下部には何も記入しないでください。																		

この欄は、この切取り紙にお出しいたください。

各票の※印欄は、ご依頼人において記載してください。

切り取らないでください。

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

振替払込請求書兼受領証

口座番号	0	2	2	6	0	7	通常払込 料金加入 者負担	
加入者名	国立大学法人山形大学							
金額	千	百	十	万	千	百	十	円
					2	0	0	0
ご依頼人	様							
料 金	日 附 印							
備 考								



- 募集人員** ◆ 一般市民・大学生・高校生 30名
- 募集期間** ◆ 平成22年9月13日(月)～10月6日(水)
- 受講料** ◆ 2,000円(大学生・高校生は無料)
- お申し込み方法** ◆ 下の「払込取扱票」に記入の上、受講料の振り込み手続きをしてください。通信欄には、職業、年齢を記入してください。先着順に受け付け、受講票をお送りします。
なお、大学生・高校生は、メールあるいは電話で、住所、氏名、電話番号、年齢を下記のお問い合わせ先にご連絡ください。
- お問い合わせ先** ◆ 〒990-8560
山形市小白川町1-4-12 山形大学人文学部事務ユニット
TEL: 023-628-4203
E-mail: jisoumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp
- 会場案内** ◆ 山形大学人文学部2階 205教室
大学正門を入れて正面の建物です。
受付は人文学部正面玄関にて行います。
- その他** ◆ **【公共交通機関ご利用のお願い】**
現在、山形大学小白川キャンパスでは、駐車場が非常に手狭になっております。公開講座当日はできるだけ公共交通機関のご利用をお願いいたします。

この受領証は、郵便局で機械処理をした場合は郵便振替の払込みの証拠となるものですから大切に保存してください。

ご注意
この払込書は、機械で処理しますので、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。

この場所には、何も記載しないでください。

二〇一〇年度公開講座

植物の魅力を訪ねて



田中射水／黒ゆりと月・雲

主催／山形大学附属博物館

2010年度公開講座 植物の魅力を訪ねて

山紫水明、四季それぞれの自然に恵まれた山形は、大きな樹木のみならず道端に咲く名も無き草花もみずみずしく、そのような草木の観察を身近に楽しむことができる素晴らしい環境にあります。

そんな山形県内の植物について、個々の種類の特徴や性質、植生の成り立ちなどについて、身近な知識としてわかりやすくお伝えし、これまでより一層植物に親しんでいただきたいというのが本講座の目的です。

小白川キャンパスでの座学では、山形県内の特徴的な植物について、それらが辿ってきた長い歴史についてお話をいたします。また、実物を観察するためにキャンパス内や山形市野草園内を散策して、植物に触れながら講師の話しに耳を傾けていただきます。

講座に参加された後、道を歩きながら、また山野を訪れた時に「おや、あれは」と植物たちに目を留めていただければ幸いです。

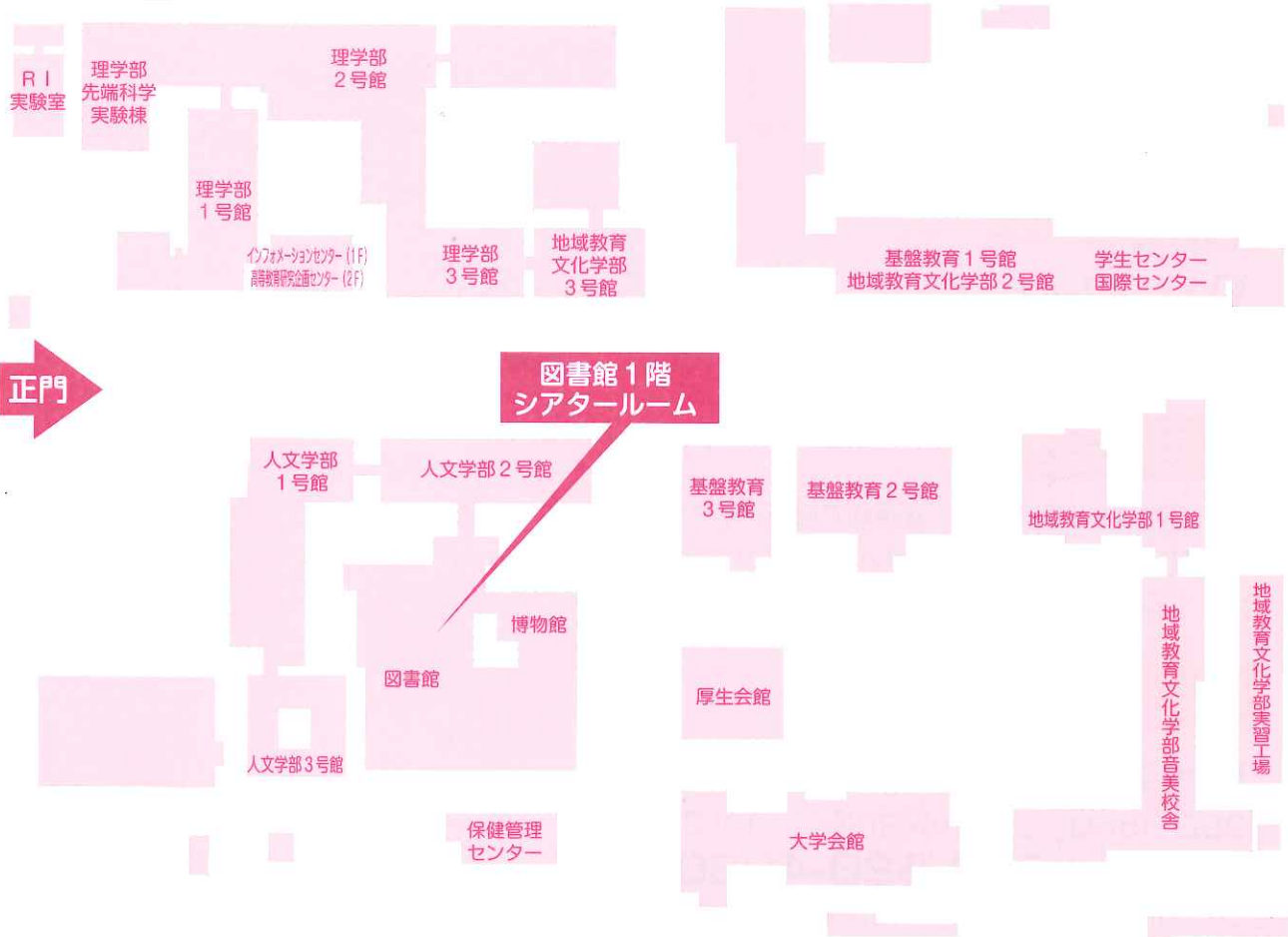
第1回
10/16 (土) 13:30~15:00 山形市野草園
「身近な植物を観察する」
講師/山形大学理学部 教授 横山 潤
※この回は山形市野草園で園内を観察しながらの講義となります。

第2回
10/23 (土) 13:30~15:00
山形大学小白川キャンパス図書館1階シアタールーム
「山形県の植物とその特色」
講師/山形大学理学部 教授 横山 潤

第3回
10/30 (土) 13:30~15:00
山形大学小白川キャンパス図書館1階シアタールーム
「東北地方の植物の分布」
講師/仙台市野草園 上野 雄規

会場案内図

<バス>山形駅前から「関沢」行きで「小白川1丁目」で下車、徒歩5分
または「山形県庁」行きで「南高前」で下車、徒歩5分
<タクシー>山形駅から10分程度



公開講座当日は、なるべく公共交通機関をご利用下さい

02	払込取扱票										通常払込料金 加入者負担								
口座記号番号																			
0	2	2	6	0	7	9	2	4	7	8	金額	千	百	十	万	千	百	十	円
加入者名 国立大学法人山形大学											料金	備考							
通信欄 「植物の魅力を訪ねて」申込書 附属博物館 ※この払込用紙は、1人1枚をご使用ください。 ○職業をお書きください。() ○年齢をお書きください。() ○今後の連絡の便宜のためにEメールアドレスをお持ちの方は ご記入ください。() ※個人情報の利用について 提出いただいた書類の個人情報は、本公開講座の参加に関する手続きのみに使用し、第三者に開示・提供・預託することはありません。ただし、ご承諾いただける場合は、今後の公開講座やセミナー等のご案内を本学からお送りする場合がございます。□承諾する □承諾しない (いずれかをチェック願います)													切取らないでお出しいたください。						
ご依頼人 おとこ (郵便番号) 様 おなまえ 様 (電話番号)													日記印						
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (承認番号仙第8982号)																			

各票の※印欄は、ご依頼人において記載してください。
「」から切り離して郵便局へお出しください。

これより下部には何も記入しないでください。

振替払込請求書兼受領証

口座番号	0	2	2	6	0	7	通常払込 料金加入 者負担	
加入者名	国立大学法人山形大学							
金額	千	百	十	万	千	百	十	円
					2	0	0	0
ご依頼人	おなまえ 様							
料金	日記印							
備考								

記載事項を訂正した場合は、その箇所を訂正印を押しつけてください。

この受領証は、大切に保管してください。

募集人員

一般市民、大学生、高校生 **30名**

受講料

2,000円 (資料代含む)

申込期間

9月21日(火) ~ 10月15日(金)

10月12日以降に払込された方は、手続きの関係上、下記電話番号までご連絡下さい。

申込方法

「払込取扱票」に記入の上、郵便局で振り込みの手続きをして下さい。
通信欄に必要な事項の記入をお願いいたします。
先着順に受付し、受講申込受付票をお送りします。

問い合わせ先

山形大学附属博物館

990-8560 山形市小白川町1-4-12

TEL/FAX **023-628-4930**

E-mail hakukan@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

ここから切り離して郵便局にお出してください。

(ご注意)

- ・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
- ・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
- ・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
- ・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
- ・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

収入印紙

3万円以上
貼 付

印

この場所には、何も記載しないでください。

「弁当の日」 in 山形

竹下和男・内田美智子・佐藤弘の3氏が揃うビッグイベント山形初上陸!

私たちは毎日山形大学生に食事を提供している山形大学生協同組合です。山形大学生協はこの間、一日3食、バランス良い食事をおいしく楽しくたべるとい取り組みを進めてきました。取り組みを進める中で幼少時代からの食生活の確立がととても大事だとあらわれ「弁当の日」は、食事を作ることの大変さへの感謝などについて、大学生だけ先生・生産者などにも参加していたえ・行動する」きっかけにして頂けた「食べることは生きること」「『弁当びや成長』『作れることの大切さ』したいと考えています。

ためて認識しました。今回の企画「ひろがさ、一緒に食べることの楽しさ、そしてでなく、お母さん・保育士・学校のだき、「食育」について「学び・考らと思ひ企画しました。とりわけの日』を通じた子どもたちの学などを大学から地域に情報発信

プログラム

- 12:20 開場
- 13:00 開演:主催者あいさつ(山形大学生協)
- 13:05 「なぜ今『食』なのか」
佐藤 弘さん(西日本新聞社編集委員)
- 13:30 「食卓から始まる生教育」
内田 美智子さん(助産師)
- 14:15 ~休憩(15分間)
- 14:30 「これが元祖、弁当の日」
竹下 和男さん(前香川綾上中学校校長)
- 15:15 「大学生の弁当の日」
佐藤 弘さん
- 15:30 講師のみなさんのクロストーク
「ひろがれ弁当の日」
- 15:50 朗読「泣きみそ校長と弁当の日」より
- 16:00 閉会



2010 日時・会場
11/3 文化の日
13:00~16:00
山形大学小白川キャンパス
第一体育館



参加
無料

どなたでも自由にご参加いただけます。

※参加申し込みが必要です。詳しくは裏面をご覧ください。

- 【主催】山形大学、山形大学生協同組合、山形県生活協同組合連合会
- 【共催】山形県農業協同組合中央会、山形県漁業協同組合連合会、山形県森林組合連合会
- 【後援】山形県、山形県教育委員会、山形新聞・山形放送

講師・パネリスト紹介



内田美智子 (うちだ みちこ)

助産師。1957年(昭和32)大分県生まれ。国立熊本病院附属看護学校、国立小倉病院附属看護助産学校助産師科卒業。福岡赤十字病院産科勤務を経て8年、福岡県行橋市にて産婦人科医の夫とともに内田産婦人科医院を開業。2004年、九州

思春期研究会設立、事務局長をつとめる。また、文部科学省委嘱、性教育実践調査研究事業委員を歴任し、2007年に福岡県社会教育委員を経て、現在に至る。産婦人科という医療現場から見える、現代の子供たちの「生」「性」「食」の問題を中心に、精力的な講演活動を行っている。著書に『ここ〜食卓から始まる生教育〜』(西日本新聞社)『いのちをいただく』(西日本新聞社)などがある。



佐藤 弘 (さとう ひろし)

中学時代、有吉佐和子の「複合汚染」を読み、ふるさとの野山がおかされていくわけを知る。百姓を志し、東京農大農業拓殖学科に進学するも、深遠なる「農」の世界に触れ、実践者となることを断念。側面から支援する側に回ろうと西日本新聞社

に入社。システム開発部、日田支局、筑豊総局、経済部などを経て、現在、編集企画委員会で長期企画「食卓の向こう側」を担当。著書に『農は天地有情 宇根豊聞き書き』(西日本新聞社)『「農」に吹く風』(共著・不知火書房)『竹田読本』(共著・西日本新聞社)などがある。



竹下和男 (たけした かずお)

1949年香川県生まれ。平成13年〜14年の2年間、当時校長を務めていた陵南町立滝宮小学校の5・6年生で「子どもが作る“弁当の日”」を実施し、その後四国・九州を中心に全国で食育の活動を行う。「地域に根ざした食育コンクール2003」では最優

秀賞(農林水産大臣賞)を受賞。2010年香川県綾川町立綾上中学校校長を定年退職。主な著書に『“弁当の日”がやってきた』(共著・自然食通信社)『台所に立つ子どもたち』(共著・自然食通信社)『始めませんか子どもがつくる“弁当の日”』(共著・自然食通信社)『泣きみそ校長と弁当の日』(共著・西日本新聞社)などがある。



竹下先生の講演スライドより

成人した人体は、60兆の細胞からなる。
1日に1兆の細胞が死に、1兆の細胞が生まれている。
その細胞のすべては食べ物から作られている。
生きているということは、常に死に続け、生まれ続けている現象のこと。
だから、食べるために生きているのではない。
生きるために食べているのではない。
「食べる」ことそのものが「生きる」ということ。
「生きる」ことそのものが「食べる」ということ。
命がつながり続けるということ。

“弁当の日”が導くもの。
命のバトンタッチを体験すること。
食材の命を奪わねば自分は生きていられないことに気づくこと。
奪った命が、自分の命になっていくことに気づくこと。
食べるという営みの尊さを、弁当づくりで気づくこと。
“弁当の日”で子どもたちを変えようとしているのではない。
未来を切りひらく子どもたちが、「食べることは生きること」に気づき、
ゆったりと、健やかに育つ環境を整えようとしているのだ。
だから、ひろがれ! 広がれ! “弁当の日”

【申込方法】FAXまたはWEB(携帯可)でお申し込みください。

●FAXの場合(※取得した個人情報はイベント開催実務にのみ使用いたします。なお、法令および規程に基づき厳重に管理いたします。)
郵便番号・住所・氏名・電話番号・FAX番号・「弁当の日参加希望」と書いて **023-641-5680** にFAXして下さい。(用紙は自由)
※複数以上で参加の場合も、全員分ご記入ください。無料貸切バスを利用する場合は乗車地(米沢または鶴岡)も記入して下さい。



●FAX送付先 023-641-5680 山形大学生生活協同組合
●WEB(PC) <http://www.yamagata.u-coop.or.jp/bento/>
◀携帯はこちらからアクセス!

受付期間: 9月1日~10月20日(但し定員700名に達し次第受付を終了します)

※10月下旬に「参加証(はがき)」をお届けしますので、当日ご持参ください。「参加証」と引き換えにもれなく素敵なプレゼントがあります。

【その他】無料貸切バスを運行します。(※申し込み必要・いずれも途中乗車・下車不可)

①10:30 工学部キャンパス正門発 ~ 11:50 小白川キャンパス着(帰りは16:40発)

②10:20 農学部キャンパス正門発 ~ 11:50 小白川キャンパス着(帰りは16:30発)

※駐車場はキャンパス内に先着約150台分しか準備できませんので、出来る限り乗合や公共交通機関、無料貸切バスをご利用ください。
※当日は学内の生協食堂が臨時営業しますので、昼食をとってからご参加いただけます。(営業時間 11:30~12:45)

お問い合わせ 山形大学生生活協同組合 TEL: 023-641-4380

次世代ロボットデザインセンターが描く

“ロボットの未来・明日のカタチ”

時間 / 13:00~16:00

場所 / 山形大学工学部(米沢市)

受講対象 / 一般市民(高校生以上)

定員 / 40名

少子高齢化が進む中、安全で安心して暮らせる社会を実現するためにロボットテクノロジー(RT)に対する期待が高まっています。山形大学でも10名以上の教員が、ロボットテクノロジーに関連する研究・教育を活発に行っています。

受講料
無料

期日
10/2
土

★入退室自由
途中からの参加も
歓迎いたします。

そこで、理工学研究科では未来ロボットをデザインし革新的な次世代ロボットテクノロジーを創出するための研究・開発の拠点として、次世代ロボットデザインセンターを2009年に立ち上げました。

本講座では、次世代ロボットデザインセンターに所属する教員が、

四つのテーマからロボットの未来や明日の社会のカタチを紹介します。

また、講義終了後に、普段見ることができない、研究室見学も実施します。

1 RTが変えるコミュニケーションのカタチ(13:05~13:30)
機械システム工学分野 / 妻木 勇一 先生

2 福祉ロボットが支える明日の社会(13:30~13:55)
応用生命システム工学分野 / 李 秀雄 先生

3 メカデザインが生み出すロボットの未来(14:05~14:30)
機械システム工学分野 / 多田隈 理一郎 先生

4 未来のロボットを支える制御パラダイム(14:30~14:55)
機械システム工学分野 / 水戸部 和久 先生

15:00~15:50 研究室見学 ★上記の先生方の研究室も見学できます!

参加申込書〈受講料無料〉

必要事項を記載の上、FAXまたはメールにてお申込ください。
ご登録いただいた情報は、参加者の確認にのみ利用させていただきます。

氏名	
所属 (学校・勤務先名)	
電話番号	
メールアドレス	



問い合わせ先 / 工学部事務ユニット 広報室 米沢市城南4-3-16 TEL/FAX 0238-26-3419
メールアドレス edison@yz.yamagata-u.ac.jp

第10回

ところ 山形大学工学部重要文化財内



癒しの響き

山形大学工学部・重要文化財コンサート

メゾ・ソプラノ：相可佐代子
ピアノ：長野真保

平成22年10月9日(土)

開場 14:30

開演 15:00

主催・山形大学工学部
後援 山形県置賜総合支庁・米沢市教育委員会・(財)米沢上杉文化振興財団
(社)米澤工業会・山形大学工学部後援会・米沢市芸術文化協会

【お申込み受付】

平成22年 9月8日(水) 午前10:00から電話受付開始 なお、定員(100名)になり次第締め切らせていただきます。お問い合わせ・お申込み：山形大学工学部 企画総務チーム TEL 0238(26)3005

入場無料



PROFILE



相可 佐代子 (メゾ・ソ프라ノ)

名古屋音楽大学声楽科卒，同大学院修了。2000年，笹川日仏財団共催パリ市立シャトレ劇場のオーディションに合格し，2001年に渡仏。劇場で行われたオペラのアンダースタディーを務める一方，劇場でのお昼のコンサートにも出演。劇場研修後の2003年にパリエコールノルマル音楽院で奨学生として研鑽を積む。同音楽院高等演奏家ディプロムを審査員満場一致で取得。2004年からはシャトレ劇場アンサンブルメンバーとしても出演を重ねる。2006年からは活動の拠点を日本に移す。現在はソロ活動の他，2004年パリで日仏交流のために結成されたグループ「クルトパイユ」の活動も合わせ，日本各地での公演を行っている。



長野 真保 (ピアノ)

愛媛県出身。6歳からピアノ，バイオリンを始め，国立音楽大学卒業後，渡仏。パリ・エコールノルマル音楽院にて，ピアノをジャン・ミコー，室内楽をドゥヴィ・エルリー各氏に学ぶ。ピアノ最高課程コンサート科を首席で卒業，室内楽高等演奏ディプロムを取得。また，同時期にドイツ・ザールランド州立演劇・音楽学校にも在籍し，ピアノ・コンチェルト過程を審査員の称賛付きで修了。マドレーヌ・ドゥ・ヴァルマレットコンクール（フランス）ベートーベン部門第一位（審査員の称賛付き）。これまでに，高野耀子，南節子，フリードリッヒ・ヴィルヘルム・シュヌアー，マスタークラスで，バドゥラ・スコダ，アンリ・バルダ各氏に師事。

プログラム

武満徹作曲：小さな空 うたうだけ

ビゼー作曲：オペラ「カルメン」より ハバネラ

オッフェンバック作曲：オペレッタ「ラ・ペリコール」より 酔っ払いの歌
などを予定



申込方法

電話による受付となります。

平成22年 9月8日（水）午前10:00から受付開始。

なお，定員（100名）になり次第締め切らせていただきます。

お問い合わせ・お申込み：山形大学工学部 企画総務チーム TEL/0238-26-3005

第16回

吾妻祭



～僕らが繋ぐこの瞬間～

10月9日(土) in 米沢女子短期大学

オープニングイベント
各種企画

清水翔太

開演 16:00~
開場 17:00~



清水翔太

10月10日(日) in 山形大学工学部

各種企画

屋台・展示・研究室公開・フリマ

10月11日(月) in 山形大学工学部

各種企画

屋台・展示・研究室公開・芸人ライブ



弾丸ジャッキー



駐車場には限りがございます。なるべく公共機関をご利用ください。

詳しくは'10 吾妻祭 HP で⇒ <http://sky.geocities.jp/azumasai2010/azuma/10azumasaitop.html>

主催：山形大学工学部・米沢女子短期大学合同学園祭「吾妻祭」実行委員会



2010年度
山形大学理学部公開講座

DNAでつなぐ サイエンス

第1日目 10月23日(土)

第2日目 10月24日(日)

山形大学大学祭「やつみねさい八峰祭」同時開催

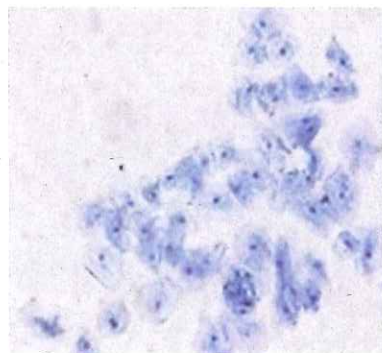
2010年度
山形大学理学部公開講座

DNAでつなぐ サイエンス

理学部公開講座は、例年6月の土曜日に開催しておりましたが、今年度は10月の山形大学大学祭「八峰祭^{やつみなさい}」と合わせて開催することといたしました。

今年のテーマは“DNA”（デオキシリボ核酸）です。理学部教員のDNAに関する興味深い話が聞けるとおもいます。

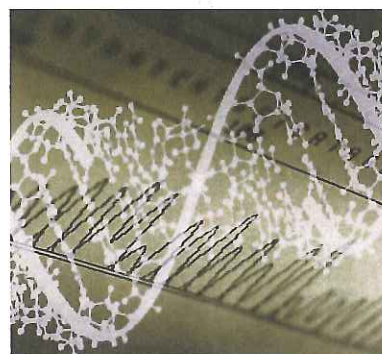
また、今回はDNAに関する実験を予定しております。1日目に実験を行い、2日目には実験結果の解析と説明をいたします。なお、毎年実施している研究室公開を2日目に行います。大学祭参加者も気軽に研究室を訪問できるように終日公開といたしました。いままでの形式と違いますが、より多くの方に理学部の研究を紹介する機会だと考えておりますので、本講座の参加と併せて是非ご覧いただきたいと思ひます。



ヒトの口腔粘膜細胞。核が見える。



自分の細胞を顕微鏡で観察する。



DNAの分子構造と塩基配列



琥珀の中に取り込まれた虫の化石

プログラム

第1日目 10月23日(土)

13:00~13:10 開講式

13:10~16:30 生命の設計図
— 個体によるDNAの
違いを見る(実験)
生物学科教授 玉手英利

第2日目 10月24日(日)

10:00~11:15 生命の設計図
— 個体によるDNAの
違いを見る
(実験結果の解析と説明)
生物学科教授 玉手英利

11:15~13:00 会場移動・休憩(昼食)
(希望者は研究室見学)

13:00~14:00 X線の回折とDNAの構造
物理学科准教授 大西彰正

14:15~15:15 DNAに含まれる情報
物質生命化学科准教授
福田宏太郎

15:30~16:30 DNAから地球の歴史を
紐解く
地球環境学科准教授
ジョルダン R.W.

16:30~16:40 閉講式

16:40~17:00 解散(希望者は研究室見学)

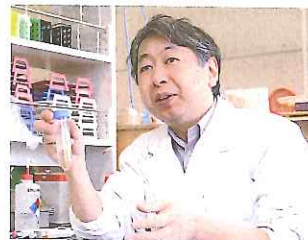
2日間受講された方には修了証書を授与いたします。

10月23日
13:10~

生命の設計図 — 個体によるDNAの違いを見る

講師：生物学科教授 玉手英利

私たちが、一人ひとり、顔かたちなど様々な性質が違うのは、各自がもつDNAに個体の違いに関する情報が書き込まれているからです。このような個体によって異なるDNA=遺伝情報を、実際に目で確かめる実験を行います。このプログラムでは、遺伝子に関する研究の最前線について理解を深め、究極の個人情報であるDNAを研究する学術的意義と倫理的問題について考えることを目的としています。



タマテヒデトシ：宮城県出身。専門分野は生態遺伝学で、特にニホンジカ、ツキノワグマなどの大型哺乳動物の集団構造に関する研究を行っている。最近、東北地方で分布を拡大しているニホンイノシシの研究を進めている。アニメやその他サブカルチャー系が好きで、押井守やティム・バートンなどに「はまって」いる。

10月24日
13:00~

X線の回折とDNAの構造

講師：物理学科准教授 大西彰正

DNAの構造が二重らせんであることは良く知られています。この立体構造の解明に重要な手がかりを与えたのはDNAのX線回折写真でした。結晶によるX線の回折現象は1912年にドイツの物理学者ラウエにより発見され、結晶内部の原子の配列を調べる手段となりました。この講義では、私たちの目では直接見ることができない結晶内部の様子がなぜX線の回折からわかるのか、簡単な例をもとに解説します。



オオニシアキマサ：滋賀県出身。専門分野は光物性物理学。趣味・特技は、野球とガーデニング。妻、子3人と愉快に暮らしている。

10月24日
14:15~

DNAに含まれる情報

講師：物質生命化学科准教授 福田宏太郎

DNAは核酸の一種で、細胞の中に存在している長い鎖状の化学物質です。DNAの基本単位はヌクレオチドと呼ばれ、糖とリン酸、塩基から構成されています。塩基はアデニン、グアニン、シトシン、チミンのたった4種類しかありません。それにもかかわらず、DNAは地球上のほぼ全ての生物において、遺伝情報を担う物質となっており、生命の設計図とよく言われます。この講義では、「DNAが遺伝情報を担っていることの発見」、「DNAの構造と役割」についてご紹介いたします。



フクダコウタロウ：東京都出身。専門分野は分子生物学で、核酸(DNAやRNA)を材料とした「薬の種創り(核酸創薬)」を目指している。現在は、「C型肝炎ウイルス」や免疫応答に必須な「核酸センサー」に対する機能性核酸の開発にチャレンジしている。趣味・特技はバドミントンと映画鑑賞。妻、長男(1歳)の3人家族。

10月24日
15:30~

DNAから地球の歴史を紐解く

講師：地球環境学科准教授 ジョルダン R.W.

植物や動物の死後、細胞内のDNA分子は、すぐに変質し分解を始めます。したがって、化石のDNAが完全に保存されることはありません。にもかかわらず、我々はDNAの分解物(フラグメント)から絶滅した生物とそれらの進化について多くのことを理解し、フラグメント分子時計を使用して進化の段階の時期を明らかにしています。古いDNAを再構築する技術は絶えず向上しているため、今はSFでしかない「ジュラシックパーク」や「アイスエイジパーク」も、近い将来には現実になるかもしれません。講義ではその研究の一端についてご紹介いたします。



ジョルダン・リチャード：英国出身。専門分野は微古生物学と生物海洋学で、過去と現在の環境(特に極地海域とサンゴ礁)について研究している。趣味・特技は、フットサルと硬式テニス。熱烈的なモンテディオファンである。妻1人。

対象

一般の方(高校生以上) 40名

※事前申し込みが必要です。詳しくは、「お申し込み方法」欄をご覧ください。

受講料

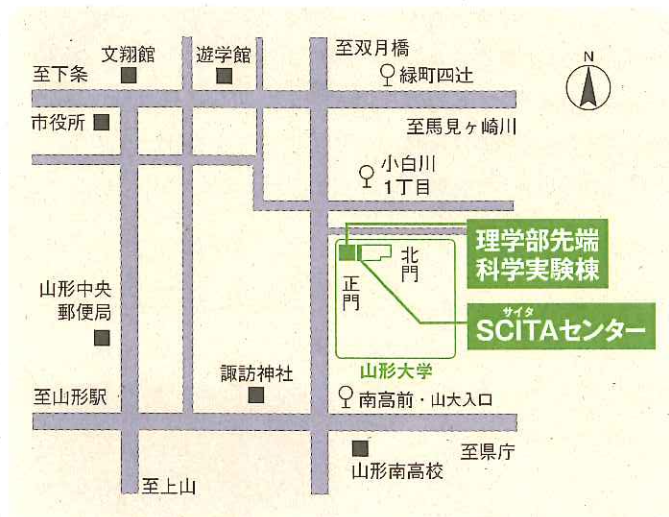
1,000円

※ただし、2日目(10月24日)の13:00以降のみ受講される場合は、500円(資料代)となります。

※受講料は当日受付時にお支払いください。

会場

サイタ
山形大学SCITAセンター (理学部1号館内)
山形大学理学部先端科学実験棟4階大講義室



アクセス

山形駅前(4番のりば) 12:10発(2日目は9:10発)の「県庁前待合所」行きに乗り「南高前・山大入口」で下車、徒歩7分。

お申し込み方法

はがき・Eメール・FAXで、1.お名前 2.性別 3.年齢 4.郵便番号 5.ご住所 6.お電話番号 7.ご職業または在学学校名・学年を、下記お申し込み先までお知らせください。先着順で受け付け、受講証をお送りします。

お申し込み期間
**2010年
9月15日(水)~
10月15日(金)**

※ただし、2日目(10月24日)の13:00以降のみ受講される場合は、事前申し込みは必要ありません。

2日目13:00以降からの講義は、100名まで受講可能です。

お申し込み・お問い合わせ先

山形大学理学部事務ユニット 公開講座担当係

〒990-8560 山形市小白川町1-4-12

TEL: 023-628-4505 / FAX: 023-628-4510

E-mail: koukai@sci.kj.yamagata-u.ac.jp

【受付時間】 9:00~17:00 (土曜・日曜・祝日は除く)

<お願い>

■ 1日目(10月23日)の実験については、次の①~③をご了解の上、ご参加ください。

- ① この実験には、参加する方が自分の細胞・DNA・遺伝子の一部を観察する内容が含まれています。
- ② この実験で観察する個人の細胞・DNA・遺伝子は当日中に廃棄し、他の目的には使用いたしません。
- ③ この実験で観察する遺伝子は個人の健康状態等に関する情報を含みません。

■ 公開講座は、山形大学大学祭「八峰祭」と同日開催となります。そのため、講座当日は小白川キャンパスへの車両の入構は一切できませんので、公共交通機関をご利用くださいますようお願いいたします。

■ FAXお申し込み用紙

必要事項をご記入の上、山形大学理学部事務ユニット 公開講座担当係までお申し込みください。

FAX: 023-628-4510

お名前	性別 男・女	年齢 歳
ご住所 〒	ご職業・学校名(学年)	
電話番号		

※お知らせいただいた個人情報は、今回の公開講座の事務手続き以外には使用いたしません。

この面をそのままFAXしてください。

KAKENHI



JSPS 日本学術振興会
JAPAN SOCIETY FOR THE PROMOTION OF SCIENCE



～ようこそ大学の研究室へ～

「有機の光を体験しよう」

2010

城戸 淳二 教授

11/13^土

★★★★ スケジュール ★★★★★
(予定)

- 開催場所** 山形大学工学部
(山形県米沢市城南4丁目3-16)
- 申込締切** 2010年10月31日
- 対象** 中学生(20名)
- 内容**

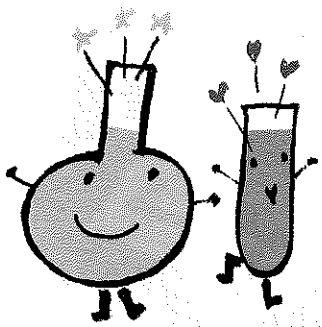
- 9:30~10:00... 受付、開場
- 10:05~10:30... 開校式(挨拶、オリエンテーション)
- 10:30~10:50... 講演「有機ELについて(仮)」
講師 城戸 淳二 教授
- 10:50~11:00... (休憩)
- 11:00~12:00... 実験「光る蛍光物質合成」
- 12:00~13:30... 昼食
(先生方、大学院生とともに学食で食事)
- 13:30~15:00... 実験「有機EL素子の作製」、
評価、ディスカッション
- 15:00~15:10... (休憩)
- 15:10~15:45... クッキータイム、フリートーク
(先生方や大学院生への質問コーナー)
- 15:45~16:00... 修了式(未来博士号授与・アンケート記入)
及び写真撮影

世界で今、一番注目をあびている「有機EL」について様々な体験をしてもらいます。
はじめに、城戸先生から「有機ELはどんなもの?」について教えてもらいます。
お話の後には、参加者の皆さんに有機物質を合成したり、有機ELを作ってもらおう実験実習を行います。
昼食は、学食でちょっぴり大学生気分を味わっていただくほか、後半にはお茶をいただきながら、城戸先生への質問コーナーやフリートークの時間も用意しています。
中学生の皆さん、楽しみながら心に残るステキな体験を試みませんか。

お問い合わせ先：山形大学工学部研究支援室 TEL 0238-26-3004
E-mail:edison@yz.yamagata-u.ac.jp

事業の詳しい内容はHPからご覧ください → ひらめき☆ときめきサイエンス

本プログラムは独立行政法人日本学術振興会による研究成果の社会還元・普及事業です。



ひらめき★ ときめき サイエンス



～ようこそ大学の研究室へ～

期日

平成22年11月13日(土)
10:00~16:00

場所

山形大学工学部

対象

中学生(20名)

参加費
無料!

参加お申込み方法

●ホームページから申し込む場合

<https://cp11.smp.ne.jp/gakujutu/seminar>
※山形大学「有機の光を体験しよう」の「申込」をクリック!

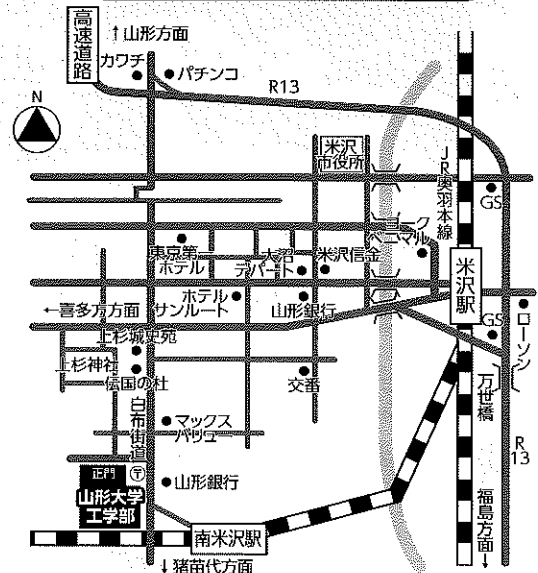
●Eメールで申し込む場合

edison@yz.yamagata-u.ac.jp
※参加申し込み書の内容を送信
タイトルに「ひらめき参加希望」とお書き下さい。

●FAXで申し込む場合

FAX:0238-26-3401
※下記の参加申込書を送付して下さい。

ACCESS



参加申込書

ふりがな 氏名・性別				<input type="checkbox"/> 男	<input type="checkbox"/> 女
学校名(学年・年齢)	中学校 (年・ 歳)				
住 所					
電話番号					
メールアドレス					
ご家族・学校関係者の 見学の有無	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	保護者の同意 (必須)	<input type="checkbox"/> 同意有り	

※ご記入いただいた個人情報は本件でのみ使用し、他には一切使用いたしません。

お申込み・お問合わせ先*山形大学工学部研究支援室

TEL:0238-26-3004 FAX:0238-26-3401 E-mail:edison@yz.yamagata-u.ac.jp